

dアカウントログイン

新規にdアカウントをつくる

dPOINT
--- P

会員情報の確認・編集

dポイント利用者情報・配送先情報

決済サービスご利用案内

spモード決済・d払い

ニュース

ニューストップ

新着

マネー・投資

企業・産業

マーケット

ビジネス・ライフ

コラム

コラムトップ

新着

マネー

投資

FX口座

証券

NISA

融資

クレジットカード

ビジネス

不動産

お金の半語帳

お知らせ

dメニューマネーからのお知らせ

プッシュ通知の解除方法について

dmenu マネーとは？

dmenu

トップ

ニュース

コラム

TOP > コラム > マネー

教育資金をつくる

相談「長男の受験で4月から教育費が増えます。教育費にはいくらまでかけてもいいのでしょうか」

© 2023/02/02 11:00

FPJに相談

教育にかかるお金

dmenu マネー

会社員・女性（41）、共働き 子供2人（小4、小1）の相談

「春から小4になる長男が中学受験をすることになり、4月から塾に通うため、教育費の出費が増えて9万円になる見込みです。夫婦合計の手取り月収が48万円なので、少しかけ過ぎかなと感じています。値上げで生活費全体も上がっていますし、もう少し教育費を抑えたいです。教育費は月いくらを目安にすればいいでしょうか」

アドバイス1 教育費の目安は手取り収入の10%までにしましょう

教育費は手取り収入の10%までを目安とし、それが難しい場合でも15%を超えないようにしましょう。相談者の場合、夫婦合計の手取り月収が48万円ですので、月4万8,000円です。

ただし、9万円かかる見込みとのもので、いきなり半分にするのは難しいかもしれません。そこで48万円の15%にあたる7万2,000円を教育費の上限に設定しましょう。

世帯年収に占める在学費用の割合は、平均約15%です。これは学校教育費と家庭教育費の合算です。平均から考えても月9万円は多すぎるので、あと2万円は抑えるよう工夫しましょう。

OLIGHT STORE





Olight Warrior Ultra DAL 充電式 日常使いのライト

Olight Oclip EDCクリップライト

【超ミニライト】Olight (mini 2)

¥16,995

¥4,295

¥2,895

今すぐ購入

今すぐ購入

今すぐ購入

次ページへ

2回目のアドバイス

1 2 次へ

1/2ページ

記事制作者



武蔵 貴子【文】
ファイナンシャル・プランナー

